

2003.6.10

板垣恒夫

寿都町・美しい海作り研究【山グループ】(案)

1.コンセプトづくり

フローに従い、グループ会員、寿都町民、研究会員と議論し創り上げる。

2.現状調査【山グループ】

フローで合意の山グループの現状把握は①朱太川流域自然調査②朱太川源流植生調査③航空写真による自然環境の解析、・・・を「町民の森」作りへ発展させたい(板垣)。

1) .資料収集(15年6月～12月)

寿都町全域に関わる森林現況調査の前段として、自然に関わる資料を集めたい。現存植生図(環境庁)、国有林および民有林関係の林相図・経営図、統計資料、航空写真(最新のもの)等。

2) .リモートセンシング情報による自然環境の解析(16年1月～16年8月)

衛星写真、航空写真をとおして森林分布図を作成し、自然環境解析を行い、「町民の森」作り構想の基礎資料とする。

3) .「町民の森」作りの具体案作成(16年9月～16年12月)

既設の林道や遊歩道があり、町民が容易に利用できる適当な面積が獲得され、かつ景観上の条件が満足できるような「町民の森」作り具体案を作成する。

4) .現地調査(15年～16年：随時)

現地調査(概況調査)は、1)～3)に前後して行う。朱太川流域踏査・植生調査(踏査)・資料収集に伴う現地視察等。

3.現状調査の取りまとめ

寿都町は自然豊かな町である。美しい海は、豊かな森林自然があれば可能となり、これは確かなことである。観光の町「寿都」よりも自然豊かな、誰もが訪れてみたい「寿都町」が最高。そんな思いで本調査をとりまとめた。

以上が、山グループ板垣私案であるが、フローで示された下記調査と「町民の森」作り構想については、研究会、地元との調整のうえすすめる。

①朱太川流域自然調査、②朱太川源流植生調査、③航空写真による自然環境の解析